
理念

1. 桜ゼミナールでは、「過去最高」を目指します。ではなぜ、「過去最高」を目指すのでしょうか？それは、**社会で活躍できる人になってほしい**という願いが込められているからです。では、社会で活躍できる人ってどんな人でしょうか？

- ・成績が良い人⇒答えはNo！
勉強しかできなくて大人になって悩む人はたくさんいます。
- ・コミュニケーションが取れる人⇒答えはNo！
コミュニケーションが取れていると勘違いしている人もいます。一方的ではよくありません。相手を思いやり過ぎるのも時としてよくありません。この定義は曖昧過ぎて安易にその通りとは言えません。
- ・人当たりが良い人⇒答えはNo！
人当たりが良いだけで生きていけるほど世の中甘くありません。
- ・器用な人⇒答えはNo！
不器用でもひたむきに頑張る姿は相手の心を動かします。人の本質はそんな表面的なところで判断できません。

では正しい答えは？それは「**自分と向き合ってきた人**」です。

2. 成績は過去最高点を狙わないと過去最高点が取れません。やる気がないのに、「過去最高点取れちゃった」なんてことはないのです。頑張って過去最高点を狙うことで見えてくるものがあります。

- ・自分の強さや弱さ
- ・自分の得意なところ、苦手なところ
- ・自分が気づかなかった自分の力
- ・自分の性格
- ・達成感
- ・悔しさ
- ・はがゆさ

- ・ 苛立ち
- ・ 充実感

時には結果が出ないこともあります。結果が出ない時期が続くこともあります。それでも、「自分と向き合うこと」が大事です。強い自分も弱い自分も自分と向き合うことで、人は強くたくましくなります。この強さやたくましさが社会に出て求められます。

- ・ 言い訳をするのは簡単
- ・ 誰かのせいにするのは簡単

でも・・・

・ **自分は何ができる？**

・ **自分は何をした？**

と自問自答できる人は少ないと思います。自分の可能性を広げ、社会の荒波にもまれて生きていくには、どれだけ自分と向き合ってきたかが影響します。中学生の場合、多くの生徒は高校受験を通して自分と向き合う機会が増えます。その結果、

- ・ 最後まで頑張れた
- ・ 途中頑張れなかった時期もあったが、最後まで頑張れた
- ・ 何度か心が折れそうになったが、何とか乗り越えることができた
- ・ 最後まで頑張れなかった

どういう形で受験を迎え、中学生生活を終えるか。ここでの経験が自分という人間の最後の

本質を決めます。**「自分は頑張れる人なのかどうか」**

- ・ 結果が出ない時があって当たり前
- ・ やる気が出ない時があって当たり前
- ・ もがき苦しんだり不安になって当たり前

それは全員が経験することです。大事なのはそこから。最後は頑張れる人かどうか。過去最高を目指すことで自分と向き合う機会を増やします。結果を出すためのノウハウもお伝えします。全ては社会で活躍できる人になるために。